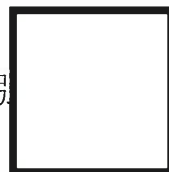


原 発 本 第 2 6 4 号
令 和 2 年 11 月 27 日

原子力規制委員会 殿

経済産業大臣
梶山 弘志 殿

福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 池辺 和 弘
社長執行役員



工事計画認可申請書の一部補正について

令和2年8月28日付け原発本第152号をもって申請しました工事計画認可申請書について、別紙のとおり一部補正します。

別紙

玄海原子力発電所第4号機

工事計画認可申請書の一部補正

九州電力株式会社

目 次

1. 補正項目
2. 補正を必要とする理由を記載した書類
3. 補正前後比較表
4. 補正内容を反映した書類

1. 補正項目

補正項目及び補正箇所は下表のとおり。

補正項目	補正箇所
1. 工事計画書	「3. 補正前後比較表」による。
4. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類	「3. 補正前後比較表」による。

2. 補正を必要とする理由を記載した書類

補正を必要とする理由

令和2年8月28日付け原発本第152号をもって申請した工事計画認可申請書について、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請を一部補正することから、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類」に必要な事項を追加する。あわせて、「工事計画書」の記載を適正化する。

3. 補正前後比較表

玄海原子力発電所第4号機 工事計画認可申請書の一部補正 補正前後比較表
【1.工事計画書】

		補正前	補正後	備考
(一) 原子力設備 4 燃料設備 加圧水型原子力発電設備に係るものにあつては、次の事項 1 燃料取扱設備に係る次の事項 (3) 使用済燃料運搬用容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び調整並びに放射線遮へい材の種類、主要寸法、冷却方法及び材料	名称	変更前	変更後	
	種類	—	使用済燃料運搬用容器 密封式円筒型[NF]4P型	
	容量	—	17×17燃料集合体 14体 濃縮度 : 4.9wt%以下 ^(註1) 冷却日数 : 〇日以上 ^(註1) 以下 ^(註1) 平均燃焼度 : 〇以下 ^(註1) 崩壊熱量 : 容器当たり54kW以下 放射線強度 : 容器当たり〇以下	
	最高使用圧力	MPa	1.70	1.70
	最高使用温度	℃	180	180
	全長	mm	5,318 ^(註2)	5,318 ^(註2)
	内筒内径	mm		
	内筒厚さ(胴部ガンマ線遮蔽)	mm		
	中間筒内径	mm		
	中間筒厚さ(胴部ガンマ線遮蔽)	mm		
外筒内径	mm			
外筒厚さ(胴部ガンマ線遮蔽)	mm			
底板厚さ(底部ガンマ線遮蔽)	mm			
ふた板厚さ	mm		2,498 ^(註2)	
フイレン外径	mm			
ふた板径	mm			
— 2 —				
(一) 原子力設備 4 燃料設備 加圧水型原子力発電設備に係るものにあつては、次の事項 1 燃料取扱設備に係る次の事項 (3) 使用済燃料運搬用容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び調整並びに放射線遮へい材の種類、主要寸法、冷却方法及び材料	名称	変更前	変更後	
	種類	—	使用済燃料運搬用容器 密封式円筒型[NF]4P型	
	容量	—	17×17燃料集合体 14体 濃縮度 : 4.9wt%以下 ^(註1) 冷却日数 : 〇日以上 ^(註1) 以下 ^(註1) 平均燃焼度 : 〇以下 ^(註1) 崩壊熱量 : 容器当たり54kW以下 放射線強度 : 容器当たり〇以下	
	最高使用圧力	MPa	1.70	1.70
	最高使用温度	℃	180	180
	全長	mm	5,318 ^(註2)	5,318 ^(註2)
	内筒内径	mm		
	内筒厚さ(胴部ガンマ線遮蔽)	mm		
	中間筒内径	mm		
	中間筒厚さ(胴部ガンマ線遮蔽)	mm		
外筒内径	mm			
外筒厚さ(胴部ガンマ線遮蔽)	mm			
底板厚さ(底部ガンマ線遮蔽)	mm			
ふた板厚さ	mm		2,498 ^(註2)	
フイレン外径	mm			
ふた板径	mm			
— 2 —				
		記載の適正化		

玄海原子力発電所第4号機 工事計画認可申請書の一部補正 補正前後比較表

【4. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類】

補 正 前	補 正 後	備 考
<p>4. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類</p> <p>当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日は以下のとおり。</p> <p>玄海原子力発電所第4号機 設計及び工事計画認可申請書番号 原発本第151号(令和2年8月28日)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>	<p>4. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類</p> <p>当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日は以下のとおり。</p> <p>玄海原子力発電所第4号機 設計及び工事計画認可申請書番号 原発本第151号(令和2年8月28日)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 30px; margin: 10px auto; padding: 5px;"> 以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った書類番号 原発本第263号(令和2年11月27日) </div>	<p>記載の適正化</p>

4. 補正内容を反映した書類

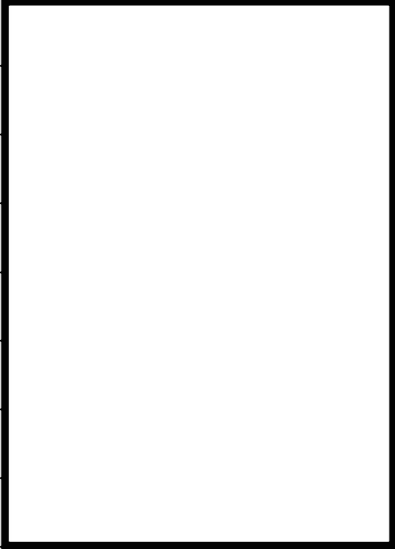
(一) 原子力設備

4 燃料設備

加圧水型原子力発電設備に係るものについては、次の事項

1 燃料取扱設備に係る次の事項

(3) 使用済燃料運搬用容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに放射線遮へい材の種類、主要寸法、冷却方法及び材料

			変 更 前	変 更 後	
名 称				使用済燃料運搬用容器	
種 類	—			密封式円筒型[NFT-14P型]	
容 量	—			17×17型燃料集合体 14体 (濃縮度 : 4.9wt%以下 ^(注1) 冷却日数 : <input type="text"/> 日以上 ^(注1) 平均燃焼度 : <input type="text"/> 以下 ^(注1) 崩壊熱量 : 容器当たり 54kW 以下 放射能強度 : 容器当たり <input type="text"/> 以下)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			1.70	
最 高 使 用 温 度	℃			180	
主 要 寸 法	全 長	mm		5,318 ^(注2)	
	内 筒 内 径	mm			
	内筒厚さ (胴部ガンマ線遮蔽)	mm			
	中 間 筒 内 径	mm			
	中間筒厚さ (胴部ガンマ線遮蔽)	mm			
	外 筒 内 径	mm			
	外筒厚さ (胴部ガンマ線遮蔽)	mm			
	底板厚さ (底部ガンマ線遮蔽)	mm			
	ふ た 板 厚 さ	mm			
	フ ィ ン 外 径	mm			2,498 ^(注2)
	ふ た 板 径	mm			<input type="text"/>

4. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 43 条の 3 の 9 第 1 項の認可の申請をした年月日を記載した書類

当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 43 条の 3 の 9 第 1 項の認可の申請をした年月日は以下のとおり。

玄海原子力発電所第 4 号機

設計及び工事計画認可申請書番号

原発本第 151 号（令和 2 年 8 月 28 日）

以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った書類番号

原発本第 263 号（令和 2 年 11 月 27 日）